

タイ国マハサラカム大学とのオンライン国際看護交流の実践報告

Practical report of online international nursing exchange with Mahasarakham University, Thailand

○大植 崇

Takashi Ohue

兵庫大学看護学部看護学科

Department of Nursing, Faculty of Nursing, Hyogo University, JAPAN

【背景と目的】

本学では、国際看護学Ⅱ（選択科目）で、タイ国マハサラカム大学看護学部と国際交流を実施している。2021年度は、COVID-19の影響に伴い、オンラインを用いて国際看護交流を実施した。本発表の目的は、その実践報告である。

【方法】

1. 調査対象：A大学看護学科の3年生で、国際看護学Ⅱ(選択科目)を履修した、6名の学生を対象とした。

2. 実施期間：2022年3月10日、11日 10時～16時

3. プログラムの概要

① 研修目的

国際看護学の基礎を養うために、タイの文化背景や医療・看護・福祉の現状と課題について理解する。タイでの知見を得たうえで、国際的視点をそなえた看護職を目指す。

② 交流国：タイ国マハサラカム

③ 研修目標

- ・ タイの異文化体験を通じて、異文化理解を深める。
- ・ タイの医療施設の見学を通じ、看護を知る。
- ・ タイの生活習慣を知る。
- ・ タイにおける看護師の役割について学びを深め、タイと日本の看護の違いを理解する。
- ・ 英語は共通語であることを認識し、英語でコミュニケーションを取れるように努力する。
- ・ 英語でプレゼンテーションを経験する。

④ プログラム

Time (Thailand)	Time (JAPAN)	content	
9:00-10:00	11:00-12:00	Introduction and self-introduction of each university 30min (Hyogo University) 30min (MSU)	Takashi Ohue
10:00-11:00	12:00-13:00	Lecture: -Nursing education in Thailand (30 min) -Nursing education in US (30 min)	-Dean Somjit -Dr.Andrew Mills
11:00-12:00	13:00-14:00	Cultural exchange of students	Each student thinks. Games and so on. +Hyogoshodo, Kanuta #MSU students (Thai boxing and dancing)
12:00-13:00	14:00-15:00	Break	
13:00-14:00	15:00-16:00	Lecture: Japan's Comprehensive Community Care System	Kasatani (Doctoral Program Student)

Day 2

Time (Thailand)	Time (JAPAN)	content	
9:00-10:00	11:00-12:00	exchange of students "Dreams as a Nurse for the Future" Students Japan 6, Thailand 6 5 min for 1 person	-Takashi Ohue -Jarawan
10:00-11:00	12:00-13:00	Faculty Research Presentation (30 min each university)	-Takashi Ohue -Jarawan (2 MSU staff present their research)
11:00-12:00	13:00-14:00	break	
12:00-13:00	14:00-15:00	Student Presentation: Nursing in Japan and Thailand	Japanese Students Thai students
13:00-13:10	15:00-15:10	break	
13:10-14:10	15:10-16:10	Farewell party	

4. 評価方法

国際交流終了後にオンラインによるアンケートを実施した。項目は次のとおりである。「タイの医療や看護について理解度について」「授業の進行度合い」「この授業を通じて、国際看護学の興味関心」「オンライン授業は、対面での授業と比べて、教育効果」「オンライン授業は、対面での授業に比べて、ストレスの程度」「この授業は、今後のあなたの看護活動に役に立ちますか?」「将来、国際看護領域で活動したいと思いますか」「この授業の満足度」「この授業で最も印象に残ったこと」

5. 分析方法：単純集計した。また記述データは、テキストマイニングを用いた。

6. 倫理的配慮：倫理的配慮として、アンケート実施に際し、目的・内容、自由参加でありそれに伴う不利益のないこと、成績・評価には全く関係のないこと、プライバシーの厳守、学会等で公表すること等説明を行い、同意を得られた対象者のみ実施した。

【結果】

6名からアンケートを回収した。「タイの医療や看護について理解度について」(「まあまあ理解した」5名、「かなり理解した」1名)であった。「授業の進行度合い」(「大変良かった」3名、「まあまあ良かった」3名)であった。「この授業を通じて、国際看護学の興味関心」(「かなり興味がある」5名、「まあまあ興味がある」1名)であった。「オンライン授業は、対面での授業と比べて、教育効果」(「かなり良かった」1名、「まあまあ良かった」3名「どちらでもない」2名)であった。「オンライン授業は、対面での授業に比べて、ストレスの程度」(「あまりなかった」3名「どりらでもない」3名)であった。「この授業は、今後のあなたの看護活動に役に立ちますか?」(「かなり役に立つ」6名)であった。「将来、国際看護領域で活動したいと思いますか」(「かなりそう思う」4名「まあまあそう思う」2名)であった。「この授業の満足度」(「非常に満足している」2名、「まあまあ満足している」3名、「どちらでもない」1名)であった。また、印象に残ったことについて、テキストマイニングを行ったところ「タイのダンス」「タイボクシング」といったワードが多かった。

【まとめ】

タイ国マハサラカム大学看護学部とのオンラインでの国際交流は、COVID-19により現地訪問できないものの、看護学生の国際看護学の興味関心を高め、効果的であると考えられる。

【利益相反】

本研究における利益相反はない。